

5 図1は、ある地域の3地点A～Cで行ったボーリング調査による地層の柱状図です。また、図2は、この地域の地形を等高線で表したもので地点Aは地点Bの真西、地点Cは地点Bの真北に位置しています。ただし、この地域には地層の上下の逆転や断層はなく、地層は互いに平行に重なっており、ある一定の方向に傾いているものとします。さらに、火山灰の地層は1つしかないことがわかります。これについて、あととの問い合わせに答えなさい。

図1

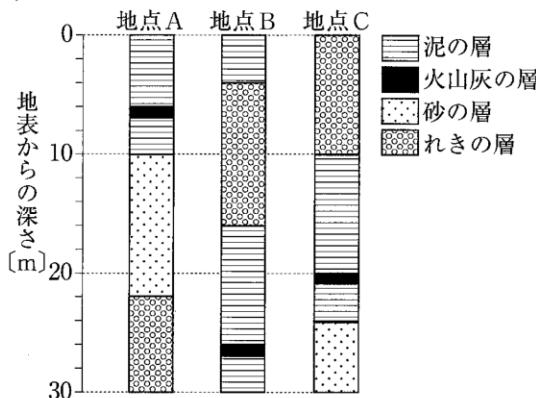
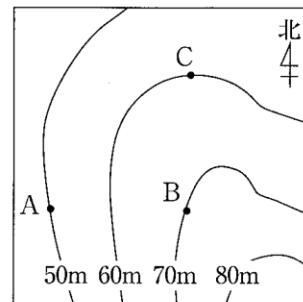


図2



- (1) 火山灰の層が、おし固められることでできる堆積岩を何といいますか。名称を答えなさい。
- (2) 地点Aでの泥、砂、れきの層の重なり方から、この地層が堆積した期間にどのような変化があったと考えられますか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。
 - ア 海水面が上がり、地点Aの位置が河口から遠くなった。
 - イ 海水面が上がり、地点Aの位置が河口に近くなった。
 - ウ 海水面が下がり、地点Aの位置が河口から遠くなった。
 - エ 海水面が下がり、地点Aの位置が河口に近くなった。
- (3) 地点Aのれきの層には石灰岩とチャートのれきが含まれていました。次のうち、石灰岩とチャートについて説明したものとして、適当なものはどれですか。2つ選び、記号で答えなさい。
 - ア 石灰岩は堆積岩であり、チャートは火成岩である。
 - イ 石灰岩は赤色、チャートは白色であり、色で区別することができる。
 - ウ 石灰岩とチャートは、どちらも生物の死がいなどでできている。
 - エ 石灰岩はうすい塩酸に反応して二酸化炭素が発生するが、チャートは反応しない。
- (4) 地点Cの砂の層からビカリアの化石が見つかりました。次のうち、ビカリアが最も栄えていた地質年代に栄えていた生物はどれですか。最も適当なものを1つ選び、記号で答えなさい。
 - ア アンモナイト イ ナウマンゾウ ウ サンヨウチュウ エ フズリナ
- (5) この地域の地層は、どの方角に向かって低くなっていますか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 東 イ 西 ウ 南 エ 北

(1)	ぎょうかいがん 凝灰岩
(2)	ア 22
(3)	ウ, エ
(4)	イ 24
(5)	エ 25

- (2) 粒の大きさは、泥<砂<れきで、粒が小さいものほど海岸から遠く離れたところに堆積します。この地域では、れき→砂→泥の順に堆積しているので、堆積した期間に海面が上がり、地点Aの位置が河口から遠くなったことがわかります。
- (4) サンヨウチュウとフズリナは古生代、アンモナイトは中生代、ビカリアとナウマンゾウは新生代の示準化石です。
- (5) 火山灰の層の上面の標高は、地点A…50-6=44(m)、地点B…70-26=44(m)、地点C…60-20=40(m)なので、東西方向には水平で、北に向かって低くなっています。